

# CMMIレベル3達成

T & D保険グループのT & D情報システム株式会社（社長：山住 明宏）は、T & Dフィナンシャル生命保険株式会社向けのシステム開発部門である事業六部において、新たにCMMI※成熟度レベル3を達成いたしました。

これにより、太陽生命保険株式会社、大同生命保険株式会社向けのシステム開発部門と合わせ、当社の全てのシステム開発部門が、CMMI成熟度レベル3を達成することができました。

CMMIとは、アメリカのカーネギーメロン大学ソフトウェア工学研究所（SEI※）で開発されたソフトウェア開発プロセスの改善モデルであり、国際的に広く活用されているデファクトスタンダードです。

プロセスの成熟度は5段階評価され、今回、当社で達成した成熟度レベル3とは、「ソフトウェア開発と保守の経験が組織として共有され、標準プロセスが定義されている」ことによって、組織的にシステムの高い品質を確保できる水準にあることを意味しています。

当社では、生産性・品質向上に向けて、システム開発プロセスの改善に継続して取り組んでおり、今後も、お客さまの満足を向上していくため、システム開発力の強化に努めてまいります。



※CMMI : Capability Maturity Model Integration

※SEI : Software Engineering Institute